

※ 会議で回答済の意見等については記載していません。

基本構想

↓平成27年7月10日現在の資料1「基本構想（修正案）」の該当ページです。

番号	ページ	意見等	対応状況
〔まえがき〕			
1	14	人口減少という言葉が何度か出てくる。14ページ、「⑦進む地方分権（1）地域社会の自立）」の5行目で「人口減少に伴うなどの多くの課題」とあるが、人口減少そのものが問題というわけではない。課題は、人口減少による人口アンバランスや経済的な影響である。「人口減少がもたらす」とか、「人口減少による影響としての課題」などとしたほうがよい。	ご意見を踏まえ、「人口減少に伴う多くの課題」と改めました。
2	14	目指す「まちの構造」というイメージ図がよくわからない。 集約と連携というところに、軸として道路網等が書いてあるが、地理的概念よりは人の暮らしという立ち位置で、「暮らしの集約と連携」のようなイメージのほうがわかりやすいと思う。	ご意見を踏まえ、冊子を印刷する際に、より分かりやすい図となるよう工夫します。

基本計画

↓平成27年7月10日現在の資料2「基本計画（修正案）」の該当ページです。

番号	ページ	意見等	対応状況
第4章 まちづくりの基本方針と各施策の関連性			
3	20	政策5の「⑥雇用の安定と勤労者支援の充実」が定住になっているが、外からの人口が入ってくるということもあると考えると、両方かと思う。 コミュニティ活動というところが、これは今いる人たちのコミュニティ活動、市民活動ということであれば定住だが、B1のように大きなイベント的な交流活動という、両方でいいか。 「開かれた市政の推進」と「公共施設の適正配置」が交流にも入っているが、公共施設の適正配置とか、市政を開いて皆さんにわかるようにするのは、今いる市民のことなので、交流は関係ないと思う。ほかの市町の方から見てもらうという意味なのかかわからないが、もう少し整理してもらいたい。	政策5「⑥雇用の安定と勤労者支援の充実」については、あくまで市民向けの施策であるため、定住施策と捉えています。 政策6「①コミュニティ活動、市民活動の推進」は、市民どうしの交流を促進すると捉えています。 「⑤開かれた市政の推進」は、情報発信により市外の人を呼び込む取組みも含むため、交流を促進すると捉えています。 「公共施設の適正配置と長寿命化の推進」は、公共施設の魅力向上が市外の人を呼び込み、交流を促進すると捉えています。
第5章 行政分野別計画			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔全体〕			
4	—	担当課名があるだけで、施策の無いものが散見されるが、何かあげた方がよいのでは。	実現手段そのものが取組みの全てを表す場合は、事業例を記載していませんが、今後、明記すべきものがあれば、基本計画の見直し時に追記するなど、柔軟に対応していきます。
政策1【安全・安心】			
〔②防犯対策の強化〕			
5	28	銀行でも振り込む前の注意とか啓発をやっていると思う。今後は認知症の高齢者目当ての犯罪もあるので、高齢者対策で後見人制度とか、認知症対策で施策を推進するなど、補強が必要と思う。	ご意見のとおり、高齢者を狙った犯罪の手口が多様化し、巧妙化することが予想されるため、今後の取組みの参考とさせていただきます。

政策2【健康・福祉】			
〔③子育て支援の推進〕			
6	48	市民意識調査で「子育て環境の充実のために行政が取り組みべきこと」と設問があったが、「出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する」が、第3位にある。事業例の中に、仕事をするということに関しては「子どもを預かりますよ」という取り組みしかない。企業が子育て中の親を受け入れるという、企業側の面の事業が全然入っていない。 また、新しく「利用者支援事業」が始まる。それは載せていないので、もし新しくやることが決まっていれば載せてほしい。	企業における子育てへの理解を広げていく取り組みは、政策6「地域・行政」の施策②「男女共同参画の推進」の中で記載する「ワークライフバランスの啓発」が該当すると捉えています。 「利用者支援事業」については、「子育て支援サービス等利用者への支援」がそれに当たります。
政策3【建設・整備】			
〔全体〕			
7	57 ～ 60 83 ～ 88	観光の中で、空き店舗問題が出ている。空家については、相続をされて住んでいる方がこの地域にいないというパターンが多い。耕作放棄地は、農地を放置したり、相続してもそのままになっている土地がある。こういうものに対する、市としての方策というのを、空き店舗については改修とか活用があるが、空き家は解体をして廃棄すべきところが多くなっている。火事、盗難等の問題もある。 まず解体費用の補助をすることによって解体を促進させる。空き店舗のみではなく、空き家についても、現在は東京や大阪などで暮らしている方に対してプロモーションを行い、解体をすると土地が更地になり、更地になったところに何か新しいことを試みということが、コンパクトシティの中でうまく回ってくるのではないかという気がする。 その点を、住居の問題、空き店舗の問題とかいろいろあるが、解体費用の補助ができないか。	空き家等への対策推進は重要な課題となっており、どのような取り組みが必要かも含めて検討していきます。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
〔②コンパクトシティの推進〕			
8	59	コンパクトシティの定義ができていないと思う。 小坂井駅から名鉄豊川稲荷までは、なんとなくたくさん人が住んでいそうな気がする。他の駅周辺がどうなっているのかを把握したうえで、取り組むことが必要と感じる。 国が言っているコンパクトシティとは違うと明言しないと、国交省が出している概念とマッチして誤解をされる。しっかり調査分析をして、拠点の一つ一つについて的手段、事業内容についても、明確な基準をつくってほしい。	ご意見のとおり、コンパクトシティの推進については十分な調査分析が必要と考えているため、今後の参考とさせていただきます。
9	60	コンパクトシティというのは中心、拠点ばかりを見るが、そこから外れたところをどうするかということも併せて考えていかないとコンパクトシティは成功しない。 ①の2番目「土地利用規制の緩和」について、市街化区域の土地利用規制の緩和は良いが、一方で農振地域をどうするかということをししないと、農振地域をどんどんコンパクトシティに荒らされていくということもある。都市計画課だけの問題ではなくということ、市全体として概念をきちっとしないとまずい。 ③コミュニティバスについても、コンパクトシティで、その近くに住んでいる人はいいが、だいぶ離れた山間地、交通の便の悪いところに住んでいる人のことも考えないといけない。コミュニティバスの考え方は、道路と一緒にだと思ふ。道路は全部、税金で賄われるのにコミュニティバスを利用する人はなぜ、個人負担が出るのか。道路を整備するのと同じようにコミュニティバスの路線を整備することは、公共として当然ではないか。税金をかなり投入してもいいのではないか。なぜ、コミュニティバスだけ赤字、赤字というのか。	ご意見のとおり、コンパクトシティについては様々な角度から考える必要があります。 また、コミュニティバスの利活用は重要な課題であるため、今後の参考とさせていただきます。

10	60	(後日意見) 企画政策課に仮称「市街地再生推進室」を設置し、市民と価値観を共有しながら、長年にわたって都市構造をより良い方向に変えていく。 国土交通省のコンパクトシティを実践する場合には、市民の価値観の変化をしっかりと見極め、それに沿う形で事業を進めるべきと考える。豊川市では、市民との意識の共有や施策の誘導手段というようなソフト面も含め、国土交通省の「コンパクトシティ」という概念よりももっと幅広い施策が必要であり、「市街地再生」というような別の言葉を使ってはどうか。 この施策を成就させるには、上記のように大きな課題が多くあり、年月をかけて着実に推進する必要がある。	ご意見のとおり、コンパクトシティについては様々な角度から考える必要があるため、今後の参考とさせていただきます。
11	60	(後日意見) 目標：「多くの人が市内で在住し、行き来のしやすい市街地と山間部、臨海部の交流溢れるまち」とする。 1 現在のコミュニティバスを一旦地元と話をし、集落と集落を繋ぐ生活に近い存在とする(病院、薬局、集会場、スーパー等) 2 駅(豊川駅・国府駅)の2駅に特急等の名古屋へのアクセスを重視した幹線バス(シャトルバス)を小坂井、御津、音羽、一宮、三蔵子、蔵子等から運行する。	コンパクトシティの推進にとって、コミュニティバスの果たす役割は大きいことから、今後の参考とさせていただきます。
〔4緑や憩いの空間の充実〕			
12	64	⑦のコミュニティリバーの用語解説があったほうがよい。	用語解説を追加しました。
政策5【産業・雇用】			
〔2工業の振興〕			
13	82	工業事業所が増えることはもちろん良いが、一工業事業所当たりの職員数が増える、つまり企業が減っている。発展して場所が確保されるというのが目標になるのかと思う。主な施策と事業は、誘致や新規事業者の支援などいろいろあるが、実際に事業所が立ち上がってから育成をする施策が足りない。もっと個々の事業所、会社が発展していくと職場環境も良くなり、働ける場所が確保されて、定住する人口が増えるという考え方だと思う。そういった面について、方向を読んでほしい。	とよかわ創業・起業支援ネットワークにおいて、専門家による経営課題に対する相談やアドバイスを行っています。 市内事業所の発展は重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
14	81 ～ 84	小規模事業者の支援ということはよく言われるが、特に小さな企業では職人的で高度な技術を持った方もたくさんいる。そういう事業所は高齢化や後継者問題で、どんどん減っていくが、特に、4人未満の事業所はどういった対応をしていくのか。	4人未満の事業所数は、経済センサスで統計を取っていないため把握していません。 なお、4人未満の事業所についても、主な手段「③中小企業への支援」で挙げている事業例の支援は行っています。
15	82	(後日意見) 目標値が事業所数で示されているが、工業力は事業所数とともに製造品出荷額で示すべき。	為替の影響を受けて金額が大きく変動する製造品出荷額は、目標指標に向かないため、現案のとおりとさせていただきます。
16	82	(後日意見) 雇用創出、雇用拡大のため、長期的視野に立った積極的な工業団地建設と企業の誘致活動を望む。	既に工業団地の建設や企業誘致活動を精力的に行っていますが、更に積極的に取り組んでいきます。
17	82	(後日意見) 大手企業の撤退防止や企業の情報共有を図る懇談会・交流会を開催するなど方策を講じてほしい。	企業の撤退防止への取り組みは重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。

18	81	(後日意見) 現況において「減少傾向にあります」とあるが、小規模事業所は大幅に減っていると思う。現況数値も目標も分けてあるので、現況の説明も分けたらどうか。	減少数の多寡はありますが、従業者30人以上の事業所も従業者4人以上30人未満の事業所も、増減を繰り返しながら減少している傾向は同じです。ご意見を踏まえ、より正確な説明とするため、「徐々に」という記述を削除しました。
〔③商業の振興〕			
19	80	6次産業化は農業だけではなく、農工商連携、工業の中にも食品加工業というのがある。工業の振興、商業の振興のところに6次産業化という項目がない。優先順位が低いのかもしれないが、ぜひ切り口として6次産業化というのを工業、商業のほうにも、頭出しをしていただければいい。	6次産業化は工業、商業も複合的に関わるものなので、今後の取組みにおいて推進していきます。
20	80	「工業の振興」と「商業の振興」で、とよかわ創業・起業支援ネットワークがある。「中心市街地の活性化」では、「②創業・業種転換等への支援」とある。縦割りで考えるのではなく、一つのとよかわ創業ネットワークとして拡大し、もっと仕事をつくるようなことにしてほしい。	ご意見を踏まえ、創業の支援については、商工観光課と都市計画課で連携し、推進していきます。
21	80	(後日意見) 目標値が事業所数で示されているが、商業力は事業所数とともに商品販売額で示すべき。	為替の影響を受けて金額が大きく変動する商品販売額は、指標に向かないため、現案のとおりとさせていただきます。
22	80	(後日意見) 創業支援の目標数値も示すべき。	とよかわ創業・起業ネットワークは平成27年度より始まった事業であり、今後の指標を立てるのが困難であるため、現案のとおりとさせていただきます。
23	80	(後日意見) 国の持続化補助金に呼応して、補助金の交付など豊川市独自で企業支援をされたい。	小規模事業者への支援は重要だと捉えています。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
24	80	(後日意見) 目標指標に「日用品などの買い物の利便性」市民満足度も入れてはどうか。	市民満足度も重要ですが、ここでは商業の振興の度合いを直接的に見る事業所数の維持に主眼においているため、現案のとおりとさせていただきます。
〔④中心市街地の活性化〕			
25	81	大きな負債を抱えている開発ビルの問題について、10年間を考えると、そろそろ解体をして再構築の時期になる。長期的には開発ビルの問題にどういうふうに取り組むのかというのを、総合計画の中に入れたほうがいいのではないかな。	市以外の出資者の意向が影響する開発ビルの方向性を、総合計画で定めることはできないため、現案のとおりとさせていただきます。
26	82	(後日意見) 「景観整備の『支援』」でなく、市が主体的に「景観条例の制定」などまちづくりを行うべき。	市が定めた地区計画の目標を達成するため、景観整備を行った場合に補助金を交付しています。市と地元と大学が一体となって景観整備に取り組んでいるため、現案のとおりとさせていただきます。
27	82	(後日意見) 「空き店舗の活用」とあるが、活用できる空き店舗があるかの調査や店舗の活用を図る「事業継承センター」を設置するなど、主体的にシステムづくりをすべき。	空き店舗の効果的な活用を図ることは重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。

28	82	(後日意見) 観光振興を図るため、少なくとも門前町は電柱の地中化を行うべき。	都市計画道路稲荷線の廃止により、現道幅員での電柱の地中化ができないため、現案のとおりとさせていただきます。
29	81	(後日意見) 中心市街地の通行量の数値は、調査日2日分の合計値か。また、一番寒い時期に調査する理由は。	平日と休日の各1日の合計値です。 また、平常時の数値を把握するという観点から、イベントの少ない毎年2月に調査しています。
【⑤観光の振興】			
30	88	新東名が来年開通し、豊川を通過してしまい、豊川市の観光地にお客さんが来ないのではないかと危惧している。市はどう考えているのか。	首都圏の方に豊川市を知ってもらい、訪れてもらうためにプロモーション活動を行っています。新東名開通後も引き続きプロモーションを行うことで、豊川市に訪れていただくよう取組みます。
31	88	姫街道をアンダー化して交通の便をよくしないと、まちの中の交通が非常に混乱するので早く実現してもらいたい。	重要な課題であるため、県への働きかけを引き続き行います。
32	88	豊川市観光基本計画では、いなり寿司など、食が中心に挙げられている。海軍工廠という埋もれた資産があり、公園計画があるが、全く整備されていない。観光基本計画などでは文化資産に対する姿勢が非常に弱い。教育委員会と連携し、もっと力を入れたほうがいい。	豊川市平和公園（仮称）については、平成30年度のオープンに向けて設計等を進めています。ご意見を踏まえ、文化資産に対する取組みについては、生涯学習課と連携しながら推進していきます。
33	87 88	10年先は人口が減っているので、確実にどこも観光客の取り合いになる。豊川市のいろいろな観光地を周遊してもらおう観光プランとか、滞在してもらい観光してもらおうなど、来てもらうだけではなくて、先を見据えた観光の形を考えてもらいたい。中心市街地などを含め、一つの観光のモデル地区として先駆けができれば、新しい形の観光ができると思う。	豊川市に訪れてもらうための取組みは重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
34	88	これから10年間、それぞれの部署が頑張っ、きらっと光るものが見えると、全国からまちを訪れる人たちが増えてくると思う。市役所を先頭にしてみんなで豊川市が栄えるようにし、観光の分野でまちづくりを見てもらうという視点での仕掛けをしてほしい。	豊川市に訪れてもらうための取組みは重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
35	88	市民が利用しやすい形にし、コミュニティバスで市内の観光地をつなぐことも増やしてほしい。	コミュニティバスは市民の意見も踏まえ、路線等の見直しを行いながら運行しています。観光地をつなぐことについては、今後の参考とさせていただきます。
36	88	観光地のボランティアとして「観光資源の整備・補修、ボランティアの育成」という言葉も、盛り込んでほしい。	主な手段「②来訪者の受入環境の整備」の事業例である観光施設等の整備と、「③観光おもてなし人材の育成」の事業例である観光ボランティアの養成の取組みの中で参考とさせていただきます。
37	88	観光であればこれ、農業であればこれというようなものを豊川ブランドとしてうたってもらえると、わかりやすい。	主な手段「①豊川ブランドの確立」の事業例である豊川ブランドの創出の取組みの中で、参考とさせていただきます。

38	88	観光地でWi-Fiを利用できるようにし、情報を得られるようにしたほうがいいという意見が出ていたと思う。調べて訪れて来る人のためにも、そういう場所や設備があったほうがいい。	観光地における無線LAN環境の整備は重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
39	88	日帰りのバスツアーでは、豊川市が通過点になっており、観光としてあまり発展してこないと思う。泊まってもらい、その後、半日以上を豊川市に滞在してもらえそうな観光地があるといい。また、山登りのような自然を入れてもいいと思う。	豊川市に訪れてもらうための取組みは重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
40	87 88	(後日意見) 来訪者の受入環境整備について、シティセールス推進や門前町のWi-fi環境の整備を行うとともに、多言語パンフレットの作成など外国人観光客の誘致に努めるべき。	観光地における無線LAN環境の整備や外国人環境客の誘致は重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
41	87 88	(後日意見) 豊川の観光シンボルである豊川稲荷の活性化に対する支援策を講じてほしい。	市では、豊川稲荷に限らず市全体の観光の振興に取り組んでいます。各種施策の展開により、豊川稲荷の活性化にもつなげてまいります。
42	87 88	(後日意見) 市民まつり「おいでん祭」、「手筒まつり」の観光事業化を促進すべき。	観光基本計画に基づき、手筒花火のPRポスターを作成し、市内外へ知名度向上を図っています。市民まつりの観光事業化については、今後の参考とさせていただきます。
43	87 88	(後日意見) 観光土産品などの開発奨励策を推進してほしい。	観光土産品などの開発は重要であると捉えているため、今後の参考とさせていただきます。
44	87 88	(後日意見) 官民一体となった豊川ブランド認定事業を進めてほしい。	主な手段「①豊川ブランドの確立」に取り組む中で参考とさせていただきます。
45	87 88	(後日意見) 年間観光入込客数は桁が多すぎるので、千人か万人単位にしてはどうか。	冊子にする際には、見やすさに配慮し、桁数は柔軟に表記したいと考えています。
46	88	(後日意見) 年間観光入込客数の指標は、B-1グランプリが終わった年の数値からスタートして大丈夫か。	観光基本計画において観光入込客数の現状値としている数値は、B-1グランプリin豊川の来場者数を含む平成25年値(751万人)であり、これを反映しているため、現案のとおりとさせていただきます。

47	87 88	(後日意見) 背景：現在の指針からは、今後豊川市に来る方を増やす計画である。しかし、それでは、豊川市のシティセールスのみでは、見えない目標である。そこで、観光客の増加と、周遊する人の増加、その週遊地での商店の活性化を考える必要がある。 目標を「交流が盛んで、活力あるれるまち」とする。 1. 現在の観光部分を周遊可能なコースと魅力の発信をする。 2. 豊川駅周辺に観光客を宿泊させる仕掛け作り、 3. 東京周辺の駅からシャトルバスを作り金曜日の夜20時に出発 豊川駅に10頃着 その夜は、宿泊 翌日豊川、東三河の周遊観光をする。夜帰る 具体的に書いたが、市役所が今後観光を利用した付加価値のある観光振興を行う政策を出し民間と連携した街づくり観光作りになると思う。(補助金等で)	観光振興における効果的な仕掛けをつくることは重要であるため、今後の参考とさせていただきます。
48	87	(後日意見) 平成15、16年度を追加したことに意味があるのか。 他の項目で15年度までのデータは掲載していないようだが。	平成16年以前は減少していたということを表記するため、追記したものです。
【⑥雇用の安定と勤労者支援の充実】			
49	89	障害者雇用は、福祉として雇用するだけではたぶん目標達成できない。いろいろな障害者の方がいて、企業とのマッチングをきちっとやれば戦力として働けるが、自分の能力とミスマッチした職場にいて低賃金で働いているという方もたくさんいる。マッチングという部分で市でやれることはたくさんあると思うので、雇用という考え方で対応してほしい。	障害者の雇用については、政策2「⑤障害者福祉の推進」の主な手段と事業例にある「就労支援の実施」において取り組んでいきます。雇用者と被雇用者とのマッチングは重要なため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
50	89	企業としては身体障害者は以前から雇用しているが、発達障害、精神障害関係の雇用は進んでいないため、支援の人材やサポートを増やすことが必要と思う。	障害者の雇用については、政策2「⑤障害者福祉の推進」の主な手段と事業例にある「就労支援の実施」において取り組んでいきます。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
51	89	職業能力専門学院の受講者だけでも、平成26年度は580人を超えているが、就労促進に関する事業への参加者数の根拠は何か。	平成26年度における職業能力専門学院の講座数は前年度と比較して急増し、それに合わせて受講者も増加しました。目標指標は、過去10年間の平均を基に算出した人数を用いて設定しています。
52	89	(後日意見) 現況を示す数値が「失業率・求人倍率」に対して、将来目標の目標値が第5次では「失業率」であったのが、今回は「参加者数」と「融資件数」となっている。現況と将来の比較は同じ指標を使用すべきではないか。	雇用に関する現況を捉える上で、失業率と有効求人倍率は欠かせませんが、社会経済情勢によって大きく影響する有効求人倍率は指標に向かないため、現案のとおりとさせていただきます。
53	89	(後日意見) 勤労者のキャリアアップ促進を行う事業所に対しても補助助成措置を講じてほしい。	キャリアアップを目指す勤労者への支援を各種施策で行うことで、勤労者が充実していくことを目標としています。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
54	89	(後日意見) 勤労者福祉促進資金の融資件数について、「生活資金の融資件数」を増やすことがいいことなのか。	ここでは、市の取組みの度合いを見る指標として、融資件数を目標指標としています。